

広報あか池 9

No.380

発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 編集/総務課

★町の人口★10,358人(+75) 男4,868人(+42) 女5,490人(+33) 世帯合計3,642(+29)平成6年7月31日現在()は前年同月との比較です



雨がほしい・・・

8月17日、町民会館前で行われた、故田中六助顕彰象、赤池炭坑殉職者鎮魂碑の盆踊り大会が開催され、多くの人で賑わいました。その踊りの輪の中にカップが2匹雨乞いをしていました。雨がほしい……

視点

九月八日は白露^{はくろ}。露が白く見えるという二十四節気の一つです。心なしか秋の気配があらわれ、さわやかさが感じられます。二十四節気とは、太陽の黄経を二十四に分け、その一つずつに季節を当てたも

のです。そこを太陽が通過する時候で、立春や夏至、大寒などの名称がつけられています。これは太陽暦の名残りです▼よく季節のあいさつをする時に、暦での季節を使いますが、太陽暦では、太陽の位置と無関係に暦日を決めていたため、季節がどうなっているかがはっきりと分からなかったのです▼そこで、季節を分かりやすくするために、二十四節気が考え出されたのです。二十四節気のうち、春分や秋分などはよく知られています▼これから、だんだん秋が深まり、寒さを感じられる言葉に変わりますが、まだまだ残暑が続きます。雨も九月中旬から下旬も降りそうもありませんね。農作物の被害も相当大きくなりそうです。また、飲料水も充分確保ができない状況になりそうです。町では渇水対策本部を設置し、節水を呼びかけています。町民みなさんの一人ひとりの「水」に対する意識が必要です▼季節ことはもう秋ですが、節水はあきないよう、こまめに実行しましょう。

豊かで活力ある住みよい町を

水永町長の所信表明



議会で所信表明 水永町長

自分が生まれ育った赤池町が21世紀にむけて「豊かで活力ある住みよい町」になることを基本理念とし、12年間の議員活動の体験を生かして、今後町行政に執行部、職員一体となって、誠心、誠意取り組んでまいるのであります。

ご承知のとおり、時代は大きく揺れ動いており、国政においても現実には新たな政治体制の確立、さらに経済の現状を見ますと依然雇用情勢や中小企業など、産業の状況には厳しいものがあるほか、急激な円高の進行など懸念すべき要因もありません。

このようなとき町政を引き受けることになり、その責務の重大さを痛感いたしておるところでございます。

要望してまいります。

ご承知のように「産炭地域振興臨時措置法」は、平成13年度で法期限切れになりますが、実質、平成9年度以降の事業実施は単価激減などの財政状況から非常に厳しい状況が予想されます。また、今年度は、役場周辺から町部への道路嵩上げ工事が予定されているところでもあります。

このような環境から、新庁舎建設は早急、かつ重要な課題であると受け止め、私は庁内の仮称ではありますが、「新庁舎建設検討委員会」なるものを設置し、議員の皆さんのご理解、ご協力をいただきながら、また、多くの町民の「声」が反映した、新庁舎の建設に向けての対応策を真剣に検討してまいりたいと思っております。

今後の諸問題と取組みであります。先程も申し上げました石炭六法を始め、過疎法、同対法の期限切れが目前にあり、現在残された事業量が今後及びず影響は必至であり、出来得る限り、これら事業の円滑な推進を図ってまいりたいと思っております。

また失対事業が地域の開発及び経済、雇用の確保の一面で大きな役割を果たしていることを考える

状況にあります。

このような状況下において、21世紀を展望した町総合計画の長期的視点にたって行財政全般にわたる総合的な点検を更に行い、あわせて行政改革と財政の健全化を一層進めていくとともに、町税財源の充実確保を図り、自主的、主体的な地域づくりを展開してまいりたいと思っております。

つまり、公平な住民本位の立場にたって最小の経費で最大の効果、効率の執行にとどめ、再建期間の縮小に努めてまいります。

また、地方自治の確立でございしますが、今、国は地方分権を推進しようとしています。このことはもとより、地方がその実情に沿った個性あふれる行政を展開する必要があると思っております。赤池町を取り巻く諸情勢を長期的に展望しつつ、当時の目指すべき将来像の実現に向けて、総合的かつ計画的な行政の運営を図ってまいります。

財政再建期間の縮小

第一に財政再建についてであり

ご承知のように、本町は赤字準用再建団体として、赤字の解消と財政構造の健全化に努めているところですが、しかしながら、今なお、町財政は依然として多額の借入金に頼り、その償還が今後の町財政にとって大きな負担となり、財政の硬化化がすすみ、極めて厳しい

福祉対策など後退のないよう

次に、高齢社会に移行する中で福祉対策についてであります。

「決断と実行」を推進

最後に、私は町長就任以来二十日になりました。町民の皆様が私に寄せる期待をひしひしと感じ、あらためて町長としての責任の重大さに身の引き締まる思いであります。今後は町民を始め、議会の皆さんの智慧と創造力をお借りしながら、「決断と実行」を推進するとの基本姿勢でまいる決意であります。

渇水対策本部を設置

今年の梅雨の降雨量は例年になく少なく、深刻な水不足となっております。西日本地区を中心に、時間給水などの給水制限措置が行われるなど、日常生活の影響も深刻さを増しています。

赤池町でも、梅雨の降雨量は平均の60パーセントとなっており、河川の水位も低くなっています。

彦山川の伏流水や井戸を水源とする赤池町の上水道も、水位の低下が著しくなっています。

一方、水道の水を使う量は、昨年と比べると13パーセント増えて

高齢者に関する福祉ニーズは、ますます増大し、複雑化、多様化する中で、当町としては「赤池町老人保健福祉計画」を策定し、現在基本的方針を掲げ検討しているところでございます。今後、この計画をどう実行していくかが緊急かつ重要な課題であると位置づけ、社会福祉協議会を始め、各団体、機関のご協力を得ながら縦割りの事業をするのではなく、総合的な福祉行政、血の通った福祉対策を推進することにあります。厳しい財政事情と言えども、後退のない福祉行政を確立してまいります。

公共下水道等の基盤整備について申し上げます。環境保全が問題となっている昨今において、文化的で快適な生活環境の向上を図るためには、公共水域の水質の保全及び環境保全に不可欠な基盤としての下水道事業を早期に整備する必要があると考え、積極的に良好な住環境整備の向上に努めてまいります。

次に、農業の振興についてでございます。今年度は、冷害による米の緊急輸入をするなど、農業を取りまく情勢は厳しいものがあります。ウルフガイ・ラウンドの合意による

セント、白乾(田んぼが白く乾いてしまう)が約35パーセントの被害が予想されています。

また、なし栽培も、全体の20パーセントの被害が予想されています。

このような異常事態に町では、水永町長を本部長とする渇水対策本部を8月16日に設置し、対策を行っています。

影響を踏まえ、農業に携わる人々が将来に希望と誇りを持って働けるよう、変化に迅速に対応し、活力ある地域の特性を生かした総合的かつ具体的な農業対策を実施してまいります。

いずれにしても、農業に携わる人々は、国民生活にとって必要不可欠な食料の安定供給という重要な使命にあることを忘れてはならないと思っております。

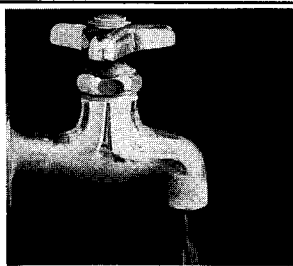
厳しい中、庁舎建設にむけて

新庁舎建設についてであります。新庁舎建設は、私をはじめ職員はもとより、町民にとっても熱い希望であり、夢であります。庁舎は、申すまでもなく、町の玄関であり、町のシンボルであるという認識にたって、国、県及び関係機関に対し、庁舎建設を強く



立ち枯れの稲(上野地区にて)

節水を お願いします! — 限りある「水」を有効に —



● 水の上手な使い方

- ジャ口をちょっとひねっただけ(開度60°程度)で1分間に約6ℓ、一杯にひねる(全開)と約20ℓの水が出ます。水は必要に応じて、ジャ口を開け閉めして大切に使うようにしましょう。
- 歯みがきはコップに... 歯みがきはコップ3杯(0.6ℓ)で十分です。水を1分間流しっぱなしにすると約10倍の6ℓを使います。
- 洗濯はためすぎで... ためすぎ(1回当り槽1杯分

- 40ℓ)だと2回繰り返しても、約70~80ℓですむものが、流しっぱなしでは2倍以上の約200ℓを使います。
- 洗車はバケツにくんで... ご家庭の乗用車の洗車には、バケツ5杯で十分。ホースからの流し洗いでは、30杯以上にもなります。
- 風呂の残り湯も再利用を... 一般家庭の浴槽では、約200ℓの残り湯があります。この半分くらいは、掃除、洗濯、散水に活用して下さい。